

## 令和7年度事業計画

近年、韓国でアフリカ豚熱の感染拡大、九州において2023年佐賀県で豚熱の発生、さらには2024年11月に福岡県で国内初のランピースキン病の発生など、動物に関する感染症のリスクが高まっています。これらの状況は、我々獣医師会にとって「One Health」の重要性を再認識させるものでありました。

「One Health」とは、人と動物、そして環境の健康が相互に関連していることを強調する理念であり、特に狂犬病やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）などの人と動物の共通感染症に対する予防啓発活動がますます重要になっています。我々は、この理念に基づき、積極的な啓発活動を推進し、災害時における飼育動物の救援体制を充実し、人と動物が共生する社会の構築を図ります。

そのため、2025年10月に当会が開催する九州地区獣医師大会・学会において、「ワンヘルス推進宣言」の内容を反映し、動物福祉や感染症対策の重要性を広める機会とします。

### 記

#### ○主要事業

- 1 災害時の動物救済支援
- 2 狂犬病予防及びその知識の普及、啓発に関する事業
- 3 人と動物の共通感染症予防及びそれらの知識の普及、啓発に関する事業
- 4 動物愛護に関する事業
- 5 夜間救急動物診療事業
- 6 学校飼育動物支援事業
- 7 適正な管理に関する事業
- 8 (介助犬)盲導犬利用者支援
- 9 会員病院において動物愛護及び適正管理に係る普及活動
- 10 公衆衛生の向上に関する事業
- 11 畜産の振興に関する事業
- 12 野生動物保護支援
- 13 獣医学術向上（学会、講習会、研修会等の開催・支援）
- 14 公益社団法人日本獣医師会が実施する獣医師生涯研修事業への協力
- 15 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### ○事業推進事項

- 1 第74回九州地区獣医師大会・学会の開催準備  
2025年10月26日 千草ホテル
- 2 行政と協力した狂犬病予防注射接種率向上の推進
- 3 北九州市災害時動物救援体制の組織強化、行政や関係機関との協働事業の実施
- 4 鳥インフルエンザ・豚熱などの感染症の防疫体制強化への協力